

技術向上と連携強化で救命率アップ 救急ワークステーション試行運用

1月22日、高千穂町国民健康保険病院で、西臼杵救急ワークステーションの試行運用開始式が行われました。

この運用では、西臼杵広域消防本部から国民健康保険病院に救急車1台と救急隊員3名が派遣され、病院での実習を行うことで知識や技術の向上を図り、医療機関との連携強化などを目的として実施。救急要請の際は、病院から出動するなど、救命率の向上にも期待されます。



有事の際に落ち着いた行動を 高千穂神社で合同防火訓練

1月27日、高千穂神社で文化防火デーによる防火訓練が行われました。

訓練には、神社の職員と西臼杵消防本部、町消防団が参加。火災を発見した職員が消防署へ通報し、参拝者の誘導や水消火器による初期消火、国指定重要有形文化財「鉄造の狛（こま）犬」に見立てた箱の持ち出しなど、実際の火災に備え、消防署員や消防団員とともに手順を確認しました。



地域への貢献を目的に 電気工事業協同組合がボランティア

1月17日、高千穂電気工事業協同組合（甲斐繁義理事長）が、神殿通りの灯籠の球切れやぐらつき点検、清掃を行いました。

甲斐理事長は「町のメインとなる通り。住民の手が回らないところかと思いい気になっていた箇所。このような活動を通じ、少しでも地域へ貢献できれば」と話しました。

組合員：（有）丸九電設、（有）甲斐電工（株）西臼杵衛生公社、田上電業（株）、黒田電気工事店、（有）小林電器商会 藤本電設



結（ゆい）の心で読書推進 子育て講演会を開催

1月17日、町自然休養村管理センターで、町PTA連絡協議会、町青少年健全育成町民会議、町教育委員会主催の子育て講演会が行われました。

絵本専門士と図書館司書の資格を持つ佐藤由紀枝さん（宮崎学園短期大学の図書館学非常勤講師）を講師に迎え、町子ども読書活動推進計画をもとに、絵本の読み聞かせの良さや子どもにとって本を読むことの意義などについて話しました。



政治や選挙についての意見を発表 第19回わけもんの主張西臼杵予選会

1月11日、町自然休養村管理センターで、宮崎県市町村選挙管理委員会連合会西臼杵支会甲斐通久支会長主催の「わけもんの主張」が開催され、西臼杵郡3町からそれぞれ代表2名が、日頃考える政治や選挙などについての思いを発表しました。

本町からは、町役場職員の甲斐大夢さんと押方歌多さんが発表。惜しくも最優秀賞は逃しましたが、堂々とした意見を述べました。



野球を通じた地域交流 梅田学園野球部による野球教室

1月11日と18日の両日、町総合公園野球場で、社会人チーム梅田学園野球部（高千穂高校野球部OB会主催）による野球教室が行われました。

郡内の小学生ソフトボールチームと中学校野球部が午前と午後に分かれ、ダッシュやジャンプ、体感トレーニングなどを行い、キャッチボールで体を温めた後、ミニゲームやポジション別にノックをするなど、楽しみながら指導を受けました。



五穀豊穡を祈る 高千穂神社で猪々掛祭を斎行

1月2日、高千穂神社で猪々掛祭が行われました。

この祭りはその昔、この地で暴れまわっていた「鬼八」を三毛入野命が退治したとされる伝説に由来する古神事で、毎年、旧暦12月3日に行われています。

この祭りの中で行う「笹振り神楽」は、高千穂神楽の原形のひとつともいわれており、供えられた猪の前に、笹を左右に振りながら「鬼八眠らせ歌」を歌い奉納をします。



リアル岩戸開き 童里（わらべのさと）トンネル貫通

1月8日、九州中央自動車道五ヶ瀬高千穂道路で建設中の「童里トンネル（仮称）」の貫通式が行われました。

貫通式では、掘削機で開けられた壁から光が差し込むと大きな歓声が上がりました。また、坑外では、モニター越しに作業を見守っていた押方小学校の児童や同校出身の中学生、地元住民らが、手を振るなどし喜びました。

今後、一日でも早い完成を目指して工事が進められていきます。

